

平成28年(1月～12月)  
関東管内の都市ガス事故発生状況  
(一般ガス事業・簡易ガス事業)

平成29年4月

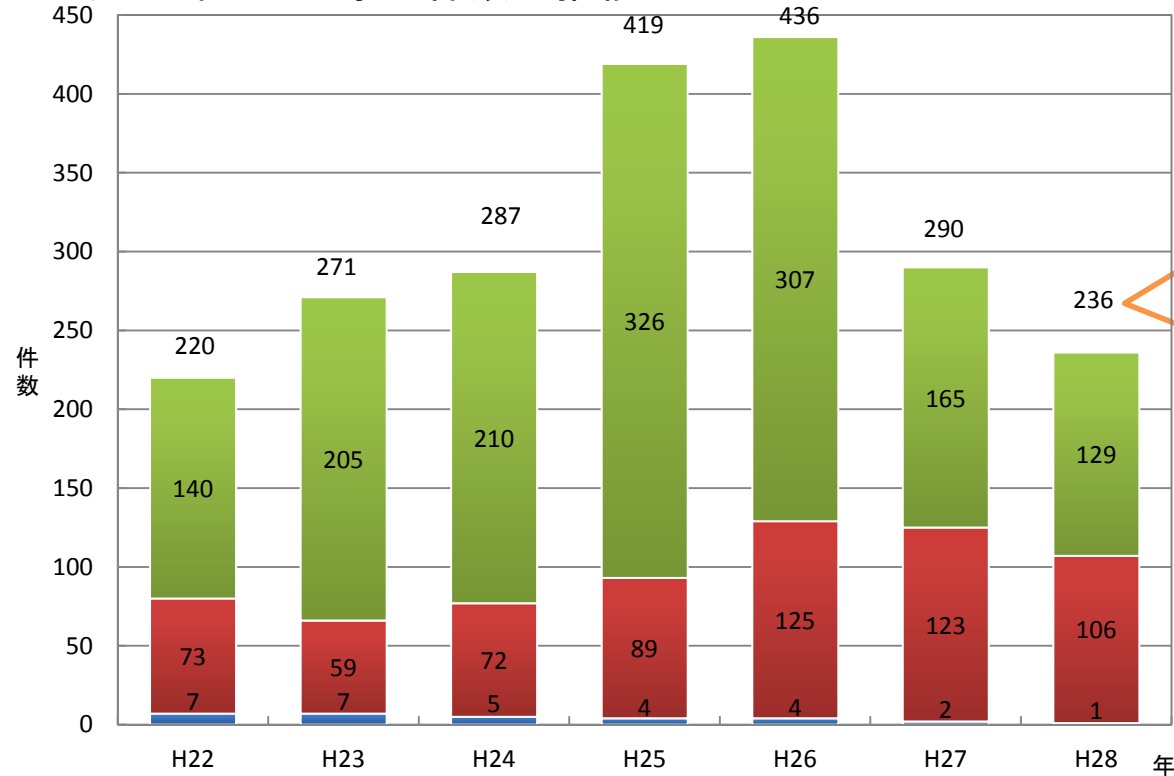
経済産業省  
関東東北産業保安監督部  
保安課

ガス事業法施行規則第112条第1項の規定に基づき関東東北産業保安監督部長宛てに報告されたガス事故をもとに集計

# 事故件数の推移(一般ガス・簡易ガス)

- 平成28年(1月～12月)のガス事故件数は236件(前年から54件の減少)。
- 事業別では、一般ガスが224件(94.9%、前年から53件の減少)、簡易ガスが12件(5.1%、前年から1件の減少)。
- 段階別では、製造段階が1件(0.4%)、供給段階が106件(44.9%)、消費段階が129件(54.7%)。
- 近年、増加傾向であった事故件数は、消費段階の事故が2年連続で減少している。

## ■平成22年からの事故件数の推移



### 平成28年の内訳

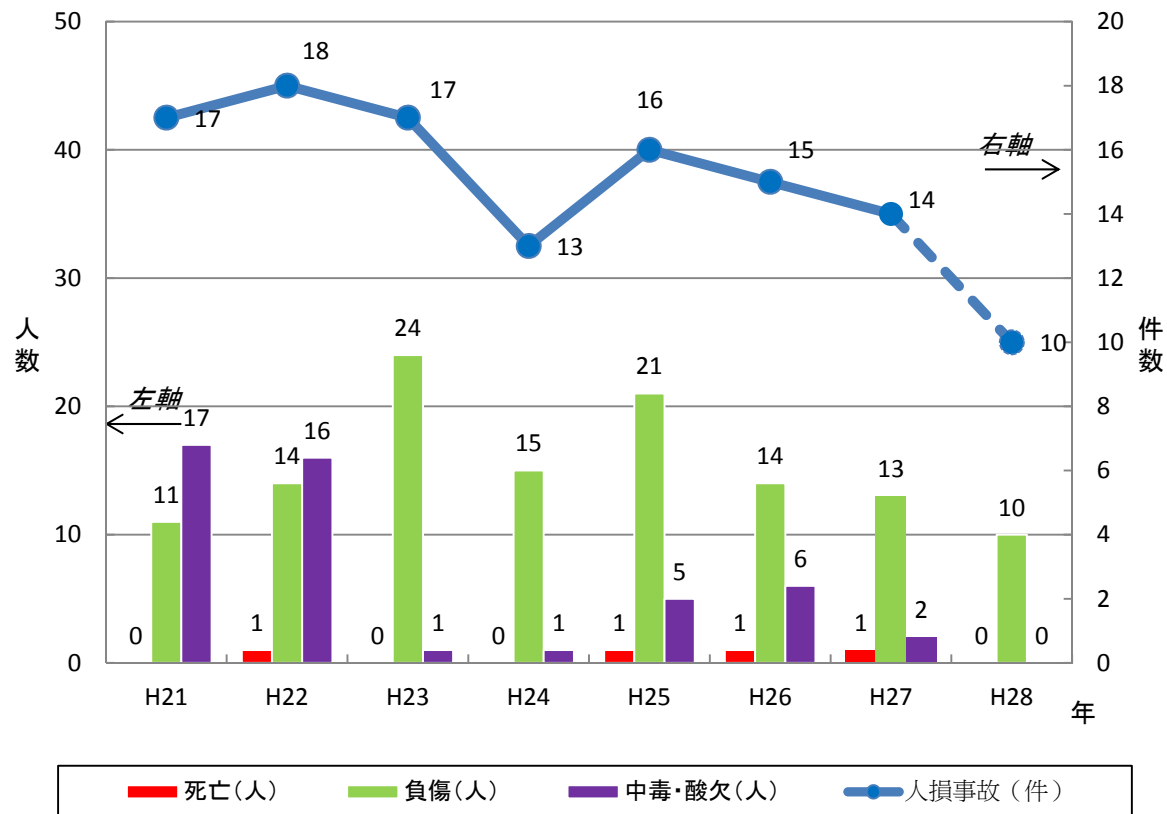
	一般ガス	簡易ガス
消費段階	126件 (53.4%)	3件 (1.3%)
供給段階	98件 (41.5%)	8件 (3.4%)
製造段階	0件 (0.0%)	1件 (0.4%)

■ 製造段階 ■ 供給段階 ■ 消費段階

# 人損事故の推移(一般ガス・簡易ガス)

- ▶ 平成28年の人損事故件数は10件、負傷者数は10人、ともに前年に比べ減少。
- ▶ 死亡事故は4年ぶり発生なし、中毒・酸欠事故は記録のある過去12年で初めての発生なしであった。

## ■平成22年からの推移



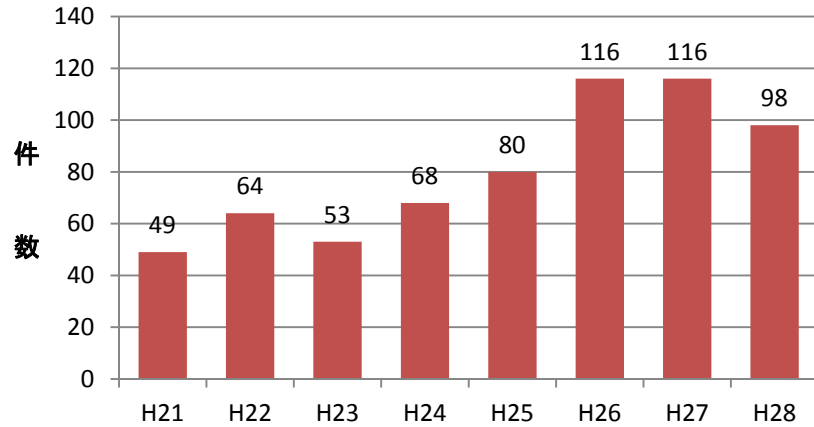
### ●平成28年の負傷、中毒・酸欠内訳

	負傷(人)	中毒・酸欠(人)
消費段階	5 [7]	0 [2]
供給段階	5 [5]	0 [0]
製造段階	0 [0]	0 [0]

[ ]内は平成27年の人数

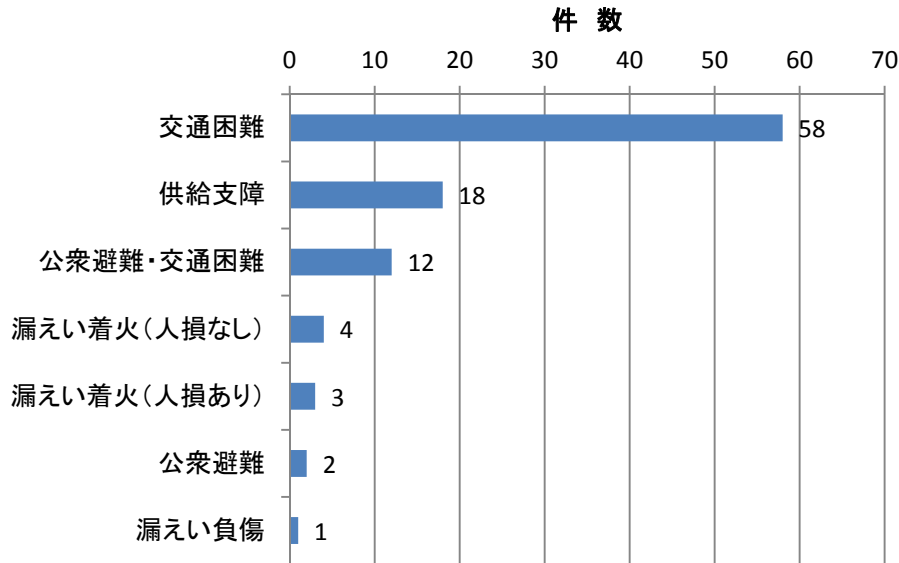
# 供給段階の事故(一般ガス)

供給段階の事故件数推移

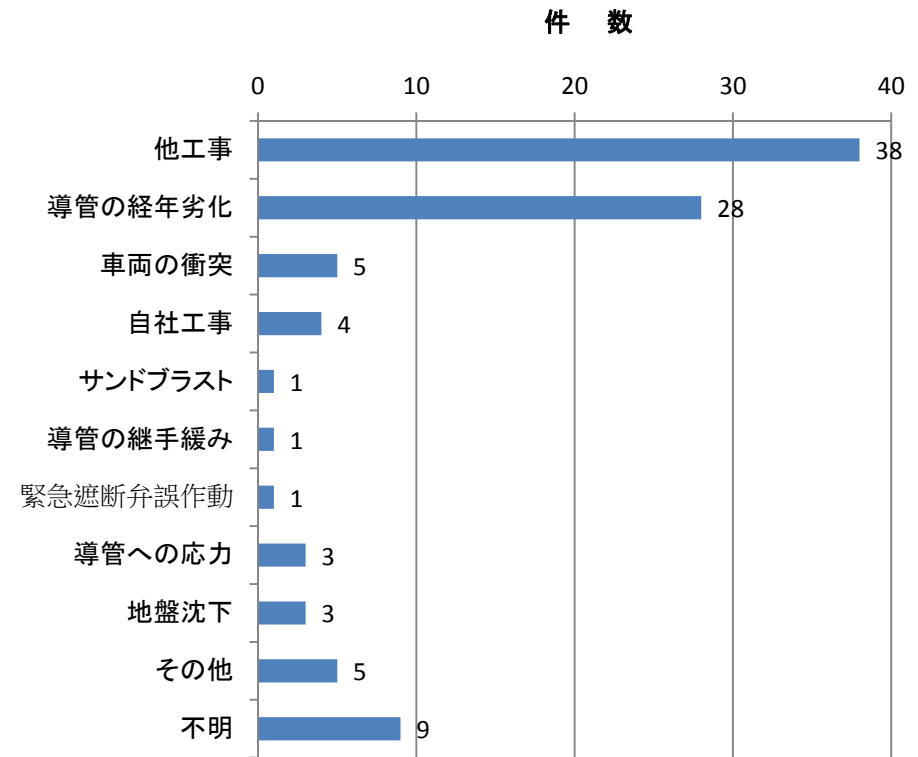


- 事象別内訳では、交通困難が最も多く(71.4%)、次いで供給支障が多い(18.4%)。
- 原因別の内訳では、他工事が最も多く(37.8%)、次いで導管の経年劣化によるものが多い(27.6%)。

■事象別内訳(平成28年:98件)

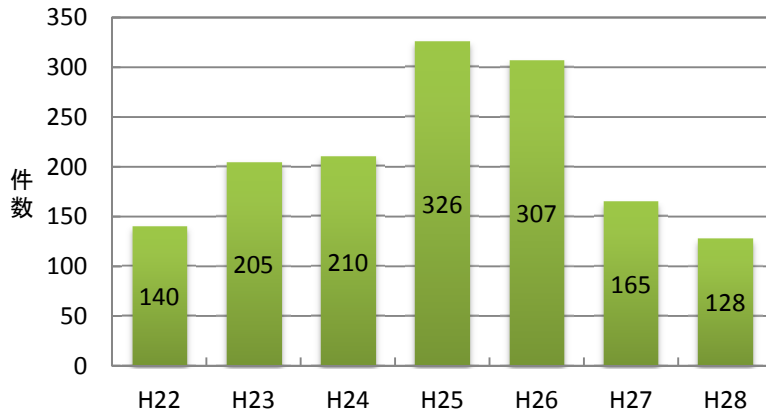


■原因別内訳(平成28年:98件)



# 消費段階の事故

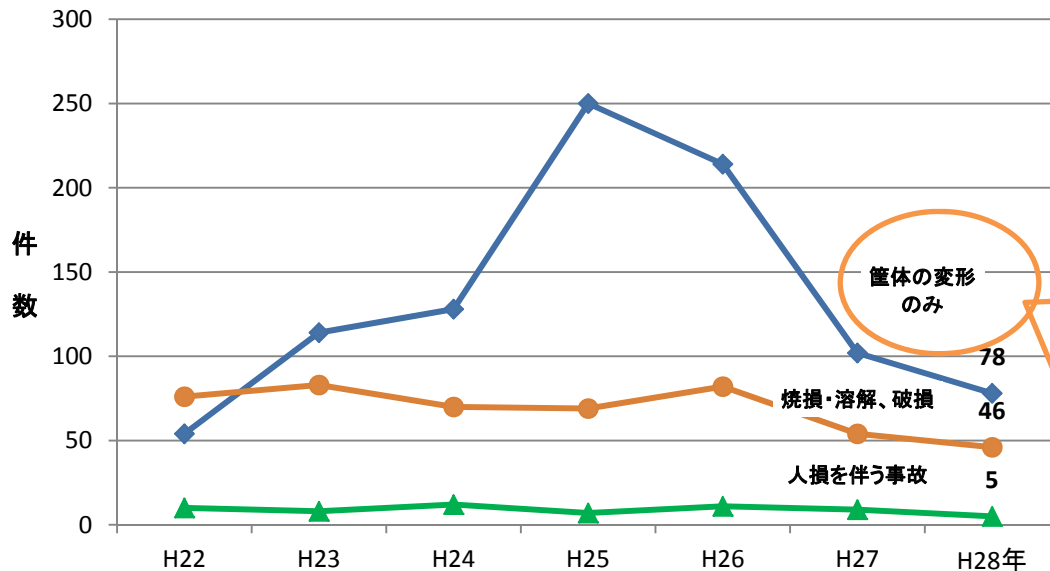
消費段階の事故件数推移



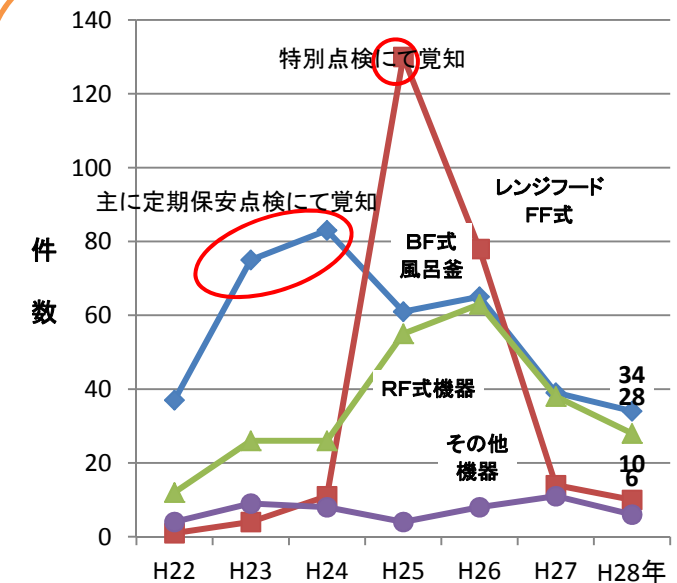
- ここ数年、消費段階の事故件数が以前より増加していたが、この要因は、風呂釜のケーシング変形など異常着火に伴う機器筐体の変形にかかる事故が多く覚知されるようになったことが大きく寄与している。
- 筐体の変形事故は、主に定期保安点検にて覚知されるBF式風呂釜の変形が平成24年にピークを迎え、また、特別点検が行われたレンジフード一体型FF式給湯器の変形が平成25年にピークを迎えたこともあり、平成27、28年は前年に比べ減少した。
- しかし、雪による上方排気カバー閉塞に伴う排気口閉塞、塗装等の養生による排気口閉塞、また何らかの要因による排気口閉塞等に伴うRF式風呂釜・給湯器の変形は下げ止まりの状態である。

内訳

筐体の変形：風呂釜、給湯器のケーシング、  
フロントカバーの変形

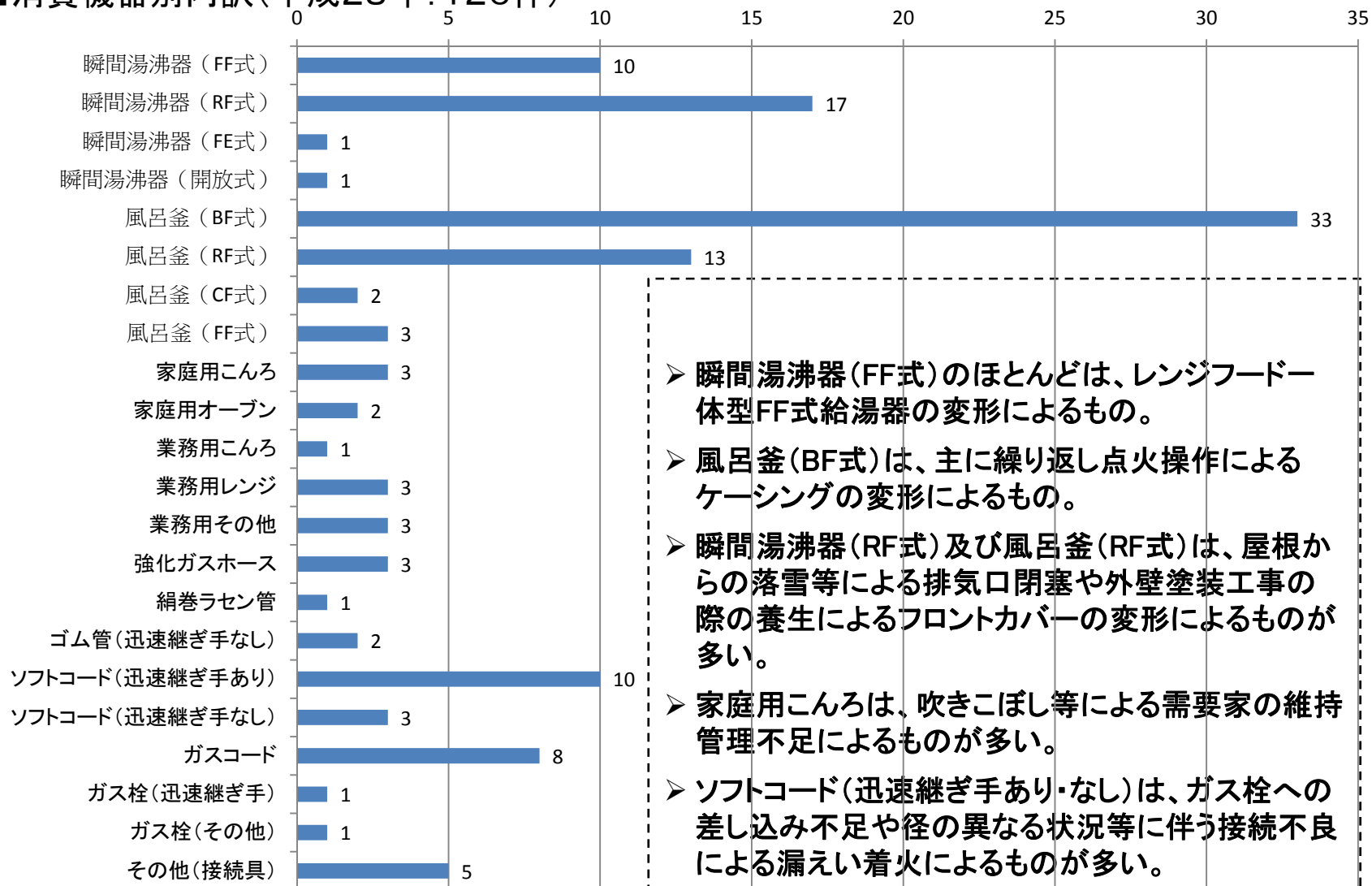


変形機器の内訳



# 消費段階の事故(一般ガス)

## ■消費機器別内訳(平成28年:126件)



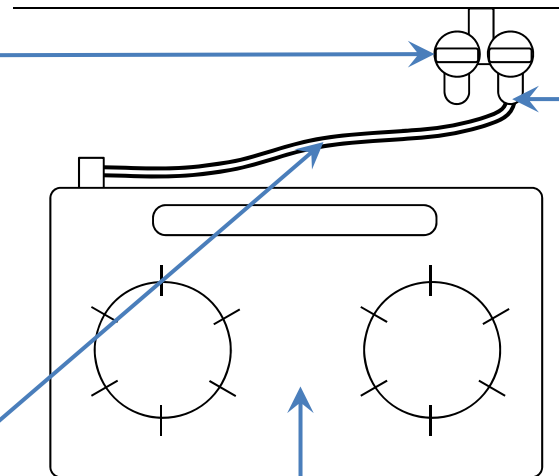
- 瞬間湯沸器(FF式)のほとんどは、レンジフード一体型FF式給湯器の変形によるもの。
- 風呂釜(BF式)は、主に繰り返し点火操作によるケーシングの変形によるもの。
- 瞬間湯沸器(RF式)及び風呂釜(RF式)は、屋根からの落雪等による排気口閉塞や外壁塗装工事の際の養生によるフロントカバーの変形によるものが多い。
- 家庭用こんろは、吹きこぼし等による需要家の維持管理不足によるものが多い。
- ソフトコード(迅速継ぎ手あり・なし)は、ガス栓への差し込み不足や径の異なる状況等に伴う接続不良による漏えい着火によるものが多い。

# 消費段階の事故事例

## ■ 家庭用こんろ及びその周辺での主な事故事例(平成28年の件数)

### ✓ 不使用ガス栓の誤開放 (2件)

ガス栓キャップの取り付けが不完全な状態で不使用側のガス栓を誤開放し、過流出安全機構が作動しない程度の微量のガスが漏えいして着火



### ✓ ガス栓への接続不足 (10件)

ゴム管用ソケットをガス栓に接続する際に、差し込みが不十分であったことから微量のガスが漏えいして着火など



- ・こんろへの接続: 5件
- ・ファンヒーターへの接続: 4件
- ・その他: 1件

### ✓ ゴム管への熱影響 (0件)

ゴム管がこんろ又はグリルに近接することにより熱影響を受け、ゴム管が損傷したことからガスが漏えいして着火



### ✓ こんろ内部の焼損 (3件)

煮こぼれにより左バーナーが閉塞し、流出した未燃ガスがに着火したことなど

